

特集

子どもの居場所

＼地域のつながりで支える／

安心な子どもの居場所



NPO法人地域子ども応援団
めだかの学校代表理事
勝見恭子さん

プロフィール
出産後から区内に住み、育児期を過ごす。都内の会社に勤め、自身の子どもの頃の経験から、2010年、区内に「めだかの学校」を創設。

子どもの頃の経験から、ずっと子どもの居場所をつくりたかった

目黒本町校は、開校してから今年で10年がたちます。学校を開こうと思ったのは、私自身の子どもの頃の体験からでした。6人兄弟の長女で、小学生の頃、忙しい親がなかなか自分のことを気に掛けてくれなかったんです。家に帰っても、家の手伝いで友だちとも遊ぶことができなくて、学校でも居場所がありませんでした。この先ずっと一人なんじゃないかという不安がある中、自分の居場所として図書館に通うことが多くなりました。親に勉強をしてくる

といえば胸を張って出掛けられる場所で、なにより無料です！ね。そこから、私にとっての図書館のような居場所をつくりたいな、と思ったのがきっかけでした。勉強ができて、自分の本音も話せるような場所です。私のように本音を言えない子を救いたかったんです。

子どもがやりたいことを何でもできる場所

来たいときに来て、自分がやりたい勉強をするという、子どもの自主性に任せています。現在は小学生がほとんどです。学校や塾の宿題をやったり、持ってきたドリルを解いたりと思い思いの勉強をしています。子どもたちの勉強の仕方はそれぞれで、来るなりスタートダッシュで勉強を終わらせて、その後、遊ぶ子もいます。常駐スタッフは質問に答えるなど、勉強のお手伝いをしています。家だと親から勉強しなさいと言われてしましますが、ここでは本人の意思でやりたいことをやるというスタンスなので、こちらから強制す

ることはありません。

スタッフに出会って変わっためだかの学校への思い

ボランティアのスタッフは元学校の先生がいたり、大学生がいたりとさまざまです。以前、スタッフとして発達障害のあるかたが来てくれました。そのかたと発達障害のある子がロボットや汽車などの制作を一緒に楽しんで、輝いてくれたんです。いろいろなスタッフがいると、いろいろな子どもたちの居場所になるんだと、そのとき感じました。同時に、いろいろな人がいるからいいんだとか、多様な価値観を子どもたちに伝える場所になればいいなと思います。

子どもたちから学校や家のことについて相談されることもあります。そういうときは、大人と子どもという感じではなく、同じ目線で、一人の人間の体験談、経験談として話しています。論すとか、教えようとかという気持ちではないですね。

この10年で延べ200人ほどの子

どもたちが通ってくれました。毎週定期的に通ってくれる子もいます。小学生のときに来てくれた子が中学生になって、この場でリーダーシップを発揮して、まとめてくれることもあります。小・中学生の時は不登校で、就職のために算数を勉強したいという大人のかたもいました。

誰もが輝ける居場所にしたい

教室をやってきて、子どもにとって勉強ができたということは、自己肯定につながるとても大事なことになるんだと強く感じています。こまでやるんだと自分で決めたことを達成できたり、分らなかった問題ができるようになったりするなど、子どもが「できた」ということを積み上げるお手伝いをしているのだと思っています。

学びたいかたは、どなたでも来てください。学校のキャッチフレーズは「めぐろで、だれもが、かがやける場所」。学校名の「め・だ・か」という名前にはそんな思いも込めています。



目黒本町校で勉強する小学生。自分のドリルを解きながら、疑問点をスタッフに質問



学習の合間にクイズで和む場面も

めだかの学校ホームページ(右コード)から、活動の詳細をご覧ください。



学校に来た子どもたちが描いた看板



名称	所在地	開催日時	問い合わせ
めだかの学校	目黒本町校	毎週土曜日 9：00～12：00	☎090－3754－0864（勝見） ✉medaka_no_gakkou1@yahoo.co.jp
	学びの分校	毎週金曜日18：00～21：00	
	自由が丘校	自由が丘地区。不定期開催（詳細はお問い合わせください）	

※感染症対策のため、活動を変更・休止する場合があります

見た目では分からない困難を抱えている子どもの存在が社会問題になっています。そんな子どもたちを思い、家庭、学校とは違う「子どもの居場所」をつくる活動が増えています。子どもが自分らしくいられる場所、時間、環境をつくるため、地域のボランティア団体などが支援を行っています。無料で学習支援を行う「めだかの学校」、栄養バランスの取れた食事と交流の場を提供する子ども食堂の「なかよし食堂」。区内で活動する2つの団体を訪ね、子どもを応援する取り組みについて聞きました。

園子育て支援課子育て支援推進係（☎5722－8723、☎5722－9328）



なかよし食堂代表
インクラン裕美さん

プロフィール
2012年から区内に在住・在勤。3人の子どもを育てながら、看護職に勤める。その経験を生かし、訪問看護の会社を設立。その後、2018年、区内に「なかよし食堂」を開業。

きっかけは自分の子どもの食事の心配から

子ども食堂は、ずっとやりたいて思っていました。仕事を続けながら3人の子どもを育てたのですが、自分が仕事をしているとき、子どもは何を食べているのか心配でした。ちゃんとおいしいものを食べているかしらと。だから、子どもが一人でも安心して食事ができる場所があればいいなと思っていました。そんな時地域で子どもたちの孤食について考えていた民生・児童委員の小林さんと出会い、なかよし食堂の活動を始めることができたんです。



子ども食堂 なかよし食堂

なかよし食堂は、都立大学駅周辺を拠点に「とりつだい処（どころ）」という名前で、毎月1回開催しています。日曜日のお昼に、子どもは無料、大人は500円でカレーなどを提供しています。

多世代が集まる場所に

毎回、40人ほどの子どもが来てくれます。調理などを手伝ってくれる60～70代のボランティアさんが約10人いて、とても助かっています。活動を重ねるにつれ、ボランティアさんが増えていき、居場所や生きがいづくりになっていると言ってくれたかたもいます。

子どもだけでなく、地域の障害のあるかたやご高齢のかたなども交流できる、多世代が集う場にしていきたいです。

コロナ禍で子ども食堂は休止に。そこで生まれた「100円べんとうプロジェクト」

新型コロナウイルス感染症の影響で、子ども食堂は3月頃から開催できなくなりました。小・中学校が休校になり、給食もなくなりました。緊急事態宣言が出て、在宅勤務をするかたが増えましたが、医療従事者のかたなど、仕事に出掛けなければならないかたも多くいました。家に

子どもを残して、仕事に出掛けるお母さんのつらい気持ちが分かるんです。そこで、お弁当を作って子どもたちに渡せないかと考えました。区や保健所に相談したところ、地元の八雲小学校の協力も得られました。

これが5月から6月に5回行った「とりつだい処おいしいお店・100円べんとうプロジェクト」です。都立大学駅周辺のレストランや料理屋さん5店の協力をいただき、毎回合わせて約50人分のお弁当を提供しました。各店が趣向を凝らしたお弁当を事前予約で受け付けて、子どもたちがお店に行くシステムです。料金は100円。お店の持ち出しも大きいのですが、「子どもが喜ぶのがうれしい」と快く協力していただきました。お弁当を受け取った子どもたちも「すごく楽しみ」と言ってくれて、大変でしたが、やって良かったです。

地域のかたの愛情を子どもたちにも知ってほしい

地域のつながりで、100円弁当プ

ロジェクトができました。保護者のかたから「子ども食堂をやっているのを知らなかったが、今後利用してみたい」「平日にも食堂を開いてもらいたい」といった意見をいただきました。今後の活動に生かしたいです。

コロナ禍で、学校などが閉ざされた中でも、地域のかたの子どもたちへの思いが届いたと感じています。食堂に来る子どもたちには、「親や親族だけじゃない、地域の大人たちも自分に愛情を向けてくれているんだ」ということを知ってほしかったんです。地域の愛を子どもに届ける場所。家や学校でもない、学校に行けない子でも安心して来られて、誰かとつながっていただける第三の場所。そういうところにしたいと思っています。

参加方法など詳細は、下表の各食堂にお問い合わせください。ホームページ（右コード）から各食堂の活動をご覧ください。



プロジェクトに参加した「シェ・ソーマ都立大学」では、カップケーキ付きのハンバーグ弁当を販売



プロジェクトに参加した「ソロノイ」では、ワンホールのピザを販売



プロジェクトに協力したボランティアとお店の皆さん。「次もぜひ協力したい」と話していました



区内の子ども食堂（区主催の子ども食堂連絡会に参加する子ども食堂）

名称（主催）	主な活動場所	開催日時	問い合わせ
めぐろごぼんぎ子ども食堂（NPO法人こどもぼ）	聖パウロ教会（五本木2－20－1）	第1水曜日18：15から	☎090－4169－2359（横山）
めぐろおいしい子ども食堂（NPO法人こどもぼ）	上目黒住区センター（祐天寺2－6－6）	第3木曜日18：15から	
かみめみんなの食堂（NPO法人こどもぼ）		第3土曜日12：00から	
にこにこ食堂（にこにこ食堂の会）	中央町を拠点に活動。現在は休止中		☎080－3546－2458（米山）
おてらでごはん（祐天寺）	祐天寺（中目黒5－24－53）	不定期で日曜日11：00から	☎3712－9960
ゆとり会議室（ゆとり会議室）	鷹番3－12－3	不定期で日曜日11：30から	☎080－6121－8427（安芸）
ちゃいんどべーす目黒本町（NPO法人ビスタ）	目黒本町社会教育館（目黒本町2－1－20）	第1金曜日18：00から	☎5726－9109
すずめ食堂（すずめ食堂の会）	大岡山東住区センター（碑文谷3－15－5）	第2木曜日18：15から	☎090－8582－7651（神代）
とりつだい処（なかよし食堂）	八雲住区センター（八雲1－10－5）	第3日曜日12：00から	☎070－3193－7956（インクラン）

※感染症対策のため、活動を変更・休止する場合があります